

事業番号	04 02 02	事業改善シート (25年度実施事業分)			<input type="checkbox"/> 予算要求	<input type="checkbox"/> 当初予算案	<input type="checkbox"/> 補正予算案	<input checked="" type="checkbox"/> 点検
事業名	交通安全運動推進事業費				担当課	部局	県民文化部	
総合5か年計画	プロジェクト				課・室	県民協働課		
	施策の総合的展開	4-2 県民生活の安全確保 2 交通安全対策の推進			E-mail	kyodo@pref.nagano.lg.jp		
					実施期間	S45 ~		

1 事業の概要

目指す姿	県民の交通安全意識の定着を図り、交通事故のない安全で安心な県民生活の実現を目指す。 成果目標：交通事故死傷者数 13,392人(H24) → 10,000人(H29)		
現状	<p>○交通安全対策基本法により県は交通安全施策の策定及びこれの実施について責務を有している。</p> <p>○施策を実施するため、交通安全運動推進本部・地方部組織を運営するほか、啓発や交通安全の推進に功労のあった者等の表彰等を実施している。</p> <p>○平成24年度までの5か年計画で目標としていた交通事故発生件数11,000件以下、シートベルト着用率98%以上、交通事故死者数100人以下、高齢死者構成率50%以下については達成したが、高齢死者の割合が依然として半数近くを占めていることから高齢者を中心とした交通事故防止対策と死傷数全体の抑止に向けた事故防止対策の推進が必要である。</p>		
県が関与する理由	県でなければ実施不可(法令等義務)	【左記の説明、根拠法令等】 交通安全対策基本法、長野県交通安全対策会議条例	
事業内容	① 成果目標(H25)		
	交通事故死傷者数:12,100人以下		
事業内容	② 事業内容 (単位:千円)		
	項目	実施方法	H25事業実績
			H25 (当初) H25 (決算) H26 (当初)
1. 交通安全運動推進本部 顕彰等	直接	・功労個人・団体、優良自動車運転者、市町村死亡事故ゼロ表彰の実施等 (49名、19団体、23市町村)	801 720 948
2. 交通安全運動地方部運営事業	直接	・啓発用公用車の維持修繕 (公用車の更新1台、車検費用、緊急修繕費用)	1,491 1,515 1,403
3. 関東ブロック交通安全対策主管課長会議	直接	・事務局旅費(長野⇄東京) ・会場使用料(11/20都道府県会館)	131 131 0
合計			2,423 2,366 2,351

事業区分	分(単位:千円)					
	23年度	24年度	25年度	26年度	27年度	28年度
予算額	前年度繰越	0	0	0	0	0
	当初予算	1,918	1,774	2,423	2,351	
	補正予算	0	0	0	0	
	合計(A)	1,918	1,774	2,423	2,351	
Aの財源	国庫支出金	0	0	0	0	
	県債	0	0	0	0	
	その他()	0	0	0	0	
	一般財源	1,918	1,774	2,423	2,351	
ト	決算額(B)	1,732	1,565	2,366		
概算人件費	職員数(人)	3.85	3.85	3.85	1.80	
	概算人件費(C)	31,793	31,793	31,793	14,864	
ト	概算事業費(B(A)+C)	33,525	33,358	34,159	17,215	

項目	H24末(実績)	H25 成果目標の達成状況			H26 目標
		目標	成果	達成状況	
交通事故死傷者数	13,392人	12,100人以下	12,362人	未達成	11,100人以下

目標に対する成果の状況	<ul style="list-style-type: none"> ・交通事故死傷者数については、目標を2%上回り目標を達成することはできなかったが、前年比で約8%減少しており減少傾向にはある。 ・死傷者数の起因となる交通事故発生件数は平成17年から9年連続して減少しており、昭和61年以来27年ぶりに1万件を下回った。 ・県警、市町村、その他関係機関・団体などと連携した注意喚起、啓発活動の一定の成果がでたものと認識している。
-------------	--

2 今後の事業の方向性

今後、事業をどのようにしていきたいか	<input type="checkbox"/> 事業を実施しない <input type="checkbox"/> 事業を見直して実施 <input checked="" type="checkbox"/> 事業を現行どおり実施 <ul style="list-style-type: none"> ・交通事故死者数に占める高齢者の割合が半分近くと依然高い割合を占めているほか、シートベルト非着用の死者が全死者の4分の1を占めるなど引き続き県民の交通安全意識の向上に取り組む必要がある。 ・顕彰表彰の表彰者・団体について、多様な者・団体が表彰され、それを励みに地域の交通安全活動が活性化するよう最近推薦の少ない団体に推薦を働きかけていきたい。
--------------------	--